

事業所名

キッズオハナ宮原・西大寛・江曾島

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		この空のもとで生活をともにするすべての人たちが、自分らしくありのままでありながらも、長所を伸ばし、できる楽しさを学び、自信につなげていくことができるよう、親身になって常に考え行動し、家族・医療・行政・企業・地域と一丸となり、この街を支え続ける										
支援方針		「共に笑い」「共に感じ」「共に活動する」「できる」の楽しさにつなげる をモットーに、一人一人の特性を分析と把握し愛情を持って支援します 日常生活における基本的動作や知識技能を習得し、将来、少しでも自立することができるよう、利用者の身体および精神の状況、並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います										
営業時間		平日（放課後）	13	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
		土・祝・学休日	10	時	00	分から	16	時	30	分まで		
支援内容												
本人支援	健康・生活	食事、着替え、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を目指します 本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返しの支援での定着を図ります										
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます 遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養います										
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚の感覚を十分に活用し、認知機能の発達を促します 文字・数・色・大小など、一人一人にあった支援プログラムを提供します										
	言語 コミュニケーション	言葉がある場合もそうでない場合も、本人の伝えたいことが表出されるよう本人の伝えたいことをまず把握します どのような内容でも共感的に対応し、伝える、分かってもらえたという経験を積み重ねることで、自分のことを伝えられることを目指します										
	人間関係 社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動がとれるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します										
家族支援		・家族からの相談や悩みに対して一緒に考え提案します ・家族の要望に迅速に対応し、子どものニーズに合った支援を提供することで、子供の自信と自己肯定感を高め、健全な成長をサポートする					移行支援		・学校などへの情報共有・連携 ・移行支援会議・カンファレンスへの参加			
地域支援・地域連携		・地域のイベントへの参加 ・各種関係機関（学校、相談員、他利用事業所）との連携を図る					職員の質の向上		・事業所内会議＋研修（月1回）カンファレンス ・外部研修への参加			
主な行事等		・外出訓練、調理、季節のイベントを取り入れた活動（夏祭り、クリスマス会、初詣など） ・年2回 避難訓練 ・オリオン通り七夕まつりへの参加（作品出品）										